

■社長挨拶

2019年(平成31年)3月11日、当社は設立100周年を迎えました。100年の長きにわたり、ご愛顧いただきましたお客様、お引立ていただきました取引先の皆さま、そしてご支援いただきました地域社会の皆さんに、深く感謝申し上げます。

振り返りますと1919年(大正8年)3月11日、八幡西区黒崎の地において設立し、その後、発祥の地を離れることなく1世紀にわたり経営を続けてまいりました。当社の社歴は地元黒崎の発展と共に歩んできたものと言っても過言ではありません。

100年という歳月の間に、わが国は幾多の危機に見舞われました。第1次世界大戦、関東大震災、金融恐慌、第2次世界大戦、オイルショック、阪神淡路大震災、バブル経済崩壊、リーマンショック、東日本大震災、ユーロ危機など枚挙にいとまがありません。

当社もまたかかる国難に加え、世界的なエネルギー変革に伴う国内石炭産業の衰退による坑木事業からの撤退など多くの試練に遭遇しました。これらの試練を乗り越えてきた創業以来の多くの諸先輩方、歴代経営者のたゆみない努力の積み重ねが現在の当社を支えていることに、改めて感謝の念を捧げたいと存じます。

そして今日、当社を取り巻く経営環境は大きく変貌しつつあり、経営課題がますます高度化しています。

言葉こそ平易な文ではありますが、創業者 高島片平翁の精神「不屈の努力」を原点に「つねに素直な心で謙虚に物事を見つつ、一歩一歩確実に実行し、自ら時代をつくっていこう」という積極的な気持ちを大切にする」、この意識を社員一人ひとりが実行し、未来につながる社会とより豊かな暮らしの実現を目指してまいります。

今後、時代の変化に積極果敢に立ち向かい、高島グループが更なる進化、飛躍を遂げるべく精進努力することをお誓いして、ご挨拶といたします。

2019年(平成31年)3月

代表取締役社長 櫻井 誠二